

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年6月6日】第126号



社会科見学

5月30日(月)、農大稲花小4年生は3台のバスに分乗して、社会科見学へ。最初は、東京都廃棄物埋立処分場を訪問し、東京都のごみ処理の現状を学びました。午後は、2年ほど前に開業した国際クルーズターミナルを見学しました。

子どもたちが礼儀正しく見学できるか、校外学習のたびに気になることなのですが、今回の社会科見学では、4年生の誰もが熱心に説明を聞き、メモを取っていたとのこと。子どもたちの成長をうれしく感じました。わかりやすいご案内で、見学にご協力くださった各施設の皆様にも御礼申し上げます。4年生の子どもたちのご家庭では、地域やご家庭のごみ処理について話題にされることはいかがでしょうか。

宿題は？

農大稲花小では、曜日によっては1年生から7時間目まで授業があります。これは、毎日の英語の授業、さらに体験学習などを行う毎週の稲花タイムの授業を行いつつ、国語や算数などの教科目でも十分な時数を確保するためです。十分な時数があることで、詰め込みでない授業が行えると期待しています。

1年生で7時間目までの授業は大丈夫？ と心配されることもありますが、授業が楽しく集中できるものであれば、子どもたちも疲れを知ることはありません。下校後も元気にアフタースクールに参加する子どもも、たくさんいます。ただ、それぞれの子どもの体調はいつでも同じというわけではありません。下校したら、リラックスして疲れをとり、翌日に備えてほしいと思っています。

そのため本校では、宿題についても学年ごとに教員が相談して、その分量が多くなりすぎないように調整しています。一方、宿題の有無にかかわらず、短くてもよいので机に向かうことを習慣づけることは必要です。英語の復習教材(REP)を聞いたり、ご家族に読んで聞かせたりすること、あるいは、国語の教科書を音読してみること、きれいに字を書いてみることを、算数で習ったことを応用していろいろなものの長さを測ってみること……。子どもたちの家庭学習をご家族がしっかり受け止めていただければ、子どもたちにとって大きな励みになることでしょう。

避難訓練

6月1日(水)に、全校での避難訓練を行いました。大きな地震があったという想定です。まず、校内放送の指示によって、子どもたちは頭部を守りながら、机の下に入りました。その後、教員

の指示により、グラウンドに避難しました。給食室の調理関係の皆さんも、アフタースクールのスタッフも、皆がグラウンドに集合です。教室から避難した学級だけでなく、体育館から避難した学級もありました。そして、避難開始から避難完了まではなんと4分5秒。予想より早い避難完了でした。そして、どの子どもたちの表情も真剣でした。

本校では全児童用の折り畳み型ヘルメット教室に配置しています。非常食も準備しています。世田谷キャンパスの東京農業大学との連携も可能です。そしてなにより幸いなことに、本校は新しい校舎ですので、耐震性も高いのです。しかし、地震や思わぬ災害は、学校にいる時に起きるとは限りません。さまざまな経路で通学する子どもたちです。通学路の状況は、公共交通機関の運行スケジュールが変わったり、駅の工事があつたりと、変化することがあります。下校時の明るさは、季節によっても違います。ご家庭でも、通学路の安全について、改めてのご指導をお願いします。



* 今回の避難訓練は、ヘルメットを着用せず、実施しました。ヘルメット着用の練習は、別途実施しています。

教員も学んでいます

6月2日(木)、本校の新規採用教諭に対する授業観察が行われました。学校法人東京農業大学の中学校や高等学校の教頭が来校し、授業観察の後、アドバイスなどを行うものです。観察を受ける教員はいつもやや緊張気味なのですが、毎回、授業改善に繋がる良いアドバイスを頂戴しています。

また、6月3日(金)は、日本私立小学校連合会による東京私立初等学校協会東京地区教員研修会に、農大稲花小の全教員が参加しました。これは、東京都内のすべての私立小学校の教員が参加して行われるもので、今年度は暁星小学校が配信元会場でした。会場校校長挨拶や朝礼の様子を拝見する全体会に続き、各教科の公開授業や各教科別研究会などがオンラインで行われました。教員は研修レポートを提出し、相互に研修の成果を共有することとしています。子どもたちには家庭で学習する日となったこの日、研修の成果を本校の授業に反映しようと、教員も大いに勉強しました。

降雷

6月3日(金)、オンラインで全教員が研修している午後、都内の各地と同様に、本校も雷雨や降雷に見舞われました。人工芝のグラウンドに白い波が立つほどの雨が降り、さらに雷も降ってきたのです。前日、群馬県などに激しい降雷があり、農作物にも大きな被害があったと聞いていただけに、教員がすぐに心配したのは、テラスで子どもたちが育てている野菜でした。雷がおさまり、雨も小やみになってようやく外に出られるようになってからテラスの見回りをしてもらったところ、幸いなことに、トマトも、インゲンマメも、アサガオ、稲も、葉が破れるなどの被害はなく、ほっと一安心。同時に、雷だけでなく様々な気象災害が多発する昨今、農家の皆様のご苦労はさぞやと実感しました。子どもたちがおいしく給食をいただくときも、生産者への感謝は忘れないようにしたいものです。

校長 夏秋 啓子